

令和5年12月26日

稲武地域会議  
会長 大島 年春 様

豊田市長 太田 稔彦

## 検討結果報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第202条の7第1項の規定に基づき諮問し、答申を受けたことについて、下記のとおり報告します。

### 記

- 1 報告事項 令和5年8月17日に稲武地域会議から受けた「第4次豊田市森づくり基本計画」に関する答申についての検討結果は別紙のとおり
- 2 主管課名 産業部森林課

## 稲武地域会議からの答申に対する検討結果

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">答申内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新たな森林ビジネスの創出 ／企業との連携による収益の確保</li> <li>2 森林管理のあり方の検討 ／人的負担と費用負担の軽減につながる支援施策</li> <li>3 地域づくりにおける森林の活用 ／森林環境教育の推進と森林の活用を学習</li> </ol>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">市の考え</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>「新たな森林ビジネスの創出」について</b>  <p>企業との連携や、既存の地域森づくり会議の取組を活用するなど、個人所有の森林の集約化を促し、管理コストの低減や安定した維持管理につなげ、新たな森林ビジネス（案）が創出される環境づくりを進めていきます。</p> </li> <li>2 <b>「森林管理の在り方の検討」について</b>  <p>森林の集約化による管理コストの低減や「新たな森林管理手法」（企業との共働による森づくりを含む）の実現によって、森林管理主体の確保を図るとともに、作業の効率化につながるデジタル技術の導入について検討していきます。また、森林作業員の確保、育成、安全教育など人材面の支援について、引き続き取り組んでいきます。</p> </li> <li>3 <b>「地域づくりにおける森林の活用」について</b>  <p>現在、稲武小学校をはじめ、いくつかの小学校においては、森林出前授業として、森林環境教育の取組を行っていますが、この取組を小学校に広く展開できるように、新たに「流域学習プログラム」（矢作川流域の森林や自然・河川を題材とした学習）を構築し、学校教育との連携を図っていきます。</p> <p>また、地域づくり活動が盛んな森づくり会議においては、地域活動のなかで森林を活用する「地域と一体となった森づくり」に取り組んでおり、こうした先行事例が稲武地域でも展開されるよう、情報提供を行う機会の創出や活動の支援をしていきます。</p> </li> </ol>